

◆新教化体制始動特集



教区の新教化体制4つのポイント

1 教化三単位の住み分け

- ・教区教化委員会＝「出向く教化」
- ・教区内別院＝「集まる教化」
- ・教化センター＝「人の育成と教学の研鑽」



2 大阪教区教化検討会議の新設

三つの教化単位が情報・課題などを共有し、住み分けによる連携不足を補うために、「教化検討会議」を新設します。各部門の現場の担当者が充て職として参加し、常に話しあい協力しあえる体勢を目指します。

教化検討会議は、【①教区会議長、②教区門徒会長、③教区教化委員会総合調整局長、④教区教化センター主幹、⑤難波別院教務部長、⑥教区坊守会代表、⑦教区推進員協議会代表、⑧難波別院人権啓発推進部員、⑨教区教化委員会青少年部代表幹事、⑩教区駐在教導】の10名で構成されます。



3 教区教化委員会組織の刷新

従来の「企画部」にかわり「総合調整局」を設置、「組教化推進部」の新設など、現場の課題に対応するため専門部会が大幅に改革されている。詳しくは3ページからの記事をご覧ください。

4 実行委員会の見直し

現行の実行委員会は、そのまま新しい教化委員会の専門部に所属することになります。しかし現代の課題に柔軟に対応し、教化事業のスリム化をはかるため、以下の変更がなされています。

- ・各実行委員の任期が現行1年から、3年に変更になった
- ・実行委員会は基本的に3年で解散する。しかし専門部会が継続設置が必要と判断した場合、事業計画を示して総合調整局に要請する
- ・実行委員の任期は、再任を妨げない



よくわかる!

さつくうとしゃらりんちゃんの

大阪教区新教化体制の解説

 ねえ、さつくう。新しい教化委員会の図を見ているんだけど、今までの教化委員会とあんまり変わってないね。何がどう違うの？

 しゃらりんちゃん。よく聞いてくれた！あんまり変わってないよ。うに見えるけど、すごく変わったんだ。けど、それはね。ちよつと説明しなきゃならないんだ。

 そうなんだあ。「見直しのための審議会」とか「策定委員会」とか何度も何度も会議してたのは聞いたんだけど、実はよく分からないの。さつくう説明して。

 うんっ、最初はね、教区の大きな声としてね。「今の教区の教化体制がなんだか活力を失っていて、それが

原因か、それぞれのお寺が疲れて弱ってしまったようになってるし、教化委員会もおんなじ顔ぶればかりで、新しい仲間もなかなか集まらない」。

 見直したけど、あんまり変わってないね。
 見直した結果を言うからね。今の教化体制自体を否定するよりも、もっと大きな眼で見ると、教区教化とそれぞれのお寺、それぞれのご門徒が遠い存在になって、ちゃんと繋がれてなかったことに問題があるんじゃないかってことになったんだ。

 確かに。大阪教区には650ヶ寺あるけど、教区の活動とは無

先日の臨時教区会（2017年2月22日開催）および、臨時門徒会（2月23日開催）において、教化体制策定委員会の最終報告が行われ、それによって提案された教区教化委員会規則の改正等の議案が、賛成多数で可決されました。これにより、次年度よりこの教化委員会規則によって、新しい教化委員会が発足することになります。

つきましては『しゃらりん』でもこの新しい体制をわかりやすくご説明したいと思います。

このコラムでは、教化委員会の各部門の特徴をご紹介します。

教区教化委員会 34人

教化事業の企画・実施

必要に応じて専門部会の
行う行事の実施を担う

教化事業の総合調整

総合調整局 10人

教化委員長推薦による委員
教化委員長推薦による委員
教化委員長推薦による委員
教化委員長推薦による委員

組教化推進部幹事
広報・出版部幹事
儀式・法要部幹事
研修・講座部幹事
社会・人権部幹事
青少幼年部幹事

総合調整局長は
10名による互選

幹事6名

総合調整局の業務内容

- ・教区教化方針の策定
- ・専門部会の行う教化事業の精査・調整
- ・専門部員の推薦
- ・実行委員会の新設・改廃
- ・教化委員会予算の試算作成



新設はあるものの、
組織はスリムに
なったんだね。

専門部会 30人

組教化推進部

- ・各組・各ブロックへの意見聞き取り
- ・ブロック別協議会（仮称）の開催
- ・その他、組教化推進に必要な事業

広報・出版部

- ・教区教化事業の広報
- ・ホームページに関する業務
- ・教区出版物の製作・頒布
- ・視聴覚伝道教材の制作

儀式・法要部

- ・儀式作法の研鑽に関する事業
- ・同朋唱和講習会
- ・こども同朋唱和講習会
- ・得度儀式講習会
- ・儀式作法に関する研修会
- ・儀式相談への対応

研修・講座部

- ・同朋の会推進に関する事業
- ・各種研修・講座の開催
- ・推進員養成講座
- ・同朋の会推進サポート
- ・教区同朋大会
- ・全推進員の集い
- ・秋安居/聖典講座等の研修会開催

社会・人権部

- ・社会問題・人権問題に関する事業
- ・部落差別問題
- ・ハンセン病問題
- ・「在日」問題
- ・ボランティア推進
- ・戦争問題・高木顕明
- ・男女平等参画・その他

青少幼年部

- ・青少年4団体と教区教化委員会の連携強化
- ・その他青少幼年に関する事業

専門部会の業務内容

- ・総合調整局の方針を受けた教化事業の企画及び実施
- ・各部門の予算の試算の作成
- ・実行委員会設置/改廃を総合調整局に要請
- ・実行委員の推薦

コーディネーター部門

教化施策実施部門

必要に応じて
実行委員会を設置

必要に応じて
実行委員会を設置

必要に応じて
実行委員会を設置

必要に応じて
実行委員会を設置

必要に応じて
実行委員会を設置

必要に応じて
実行委員会を設置

実行委員会

実行委員会運用上の提案

- ・「教化事業の企画および実施の主体」は専門部会と位置づけます。
- ・実行委員会は「専門部会の目的達成」および「出向く教化の実現」に努めること。「真の現場である組・寺院・門徒」への働きかけに努めます。
- ・最長でも3年間活動した実行委員会は一旦解散します。その上で活動報告を提出し、総合調整局において今後の事業を継続するかどうか判断します。

縁のお寺やご門徒さんも多いよね。

しゃらりんちゃんもそう思う？

その通りなんだ。教区教化って言いながらも、中央に出て来る人だけでやってる感じがして、全体に「教えが伝わる」っていうふうにはなってないんだ。そこで、こんな課題を中心に考え出したんだ。「一人ひとりの門徒が主役。一ヶ寺一ヶ寺に親鸞聖人の教えが届く教化」

小池百合子さんの「都民ファースト」みたいね。

こっちの方が小池さんよりちょっと先に考えてただけだね。それは良いとして、現場であるお寺やご門徒と繋がってゆく教区教化にしようっていうこと。

それが、この組織図になってるの？

じゃあ、組織図をちょっと見て。専門部会が大きく2つに分かれてるだろう。

ほんと。コーディネーター部門と教化施策実践部門。

総合調整局

従来の企画部に代わり、総合調整局を置きます。

企画部はいわゆる「充て職」中心の構成であり、どうしても教化の現場である専門部との意思の疎通の難しさが指摘されてきました。

新しい総合調整局は、それを解消するため、各専門部の幹事6名および教化委員長（教務所長）推薦の委員4名で構成されることとなります。

これによってあくまでも「教化事業の企画および実施の主体」は専門部会であるということが徹底できることです。なお、総合調整局長は各委員の互選によってこれを選出します。

業務内容

- 教区教化方針の策定
- 専門部会の行う教化事業の精査・調整
- 専門部員の推薦
- 実行委員会の新設・改廃
- 教化委員会予算の試算作成



そう。このコーディネイト部門に新しく「組教化推進部」って専門部会を作ったんだ。それはね、各組や各寺に向いて行って、現状を把握したりそれぞれのニーズを調査することを通して、実際には教化委員会の各事業を紹介して、組やお寺へ「出向く教化」の取り組みを推進する部会なんだ。



出向く教化？



うん。この新しい教化委員会の大きな目玉は、教化委員会に人が集まるのを待ってるんじゃないくて、こちらから「出向く教化」として、組やお寺の現場で教化活動を展開するってことなんだ。それがコーディネイト部門の役割。だから同じコーディネイト部門には「広報・出版部」もあるだろ。各お寺で使ってもらえる出版物や、教化教材。また宣伝やお知らせも広く組やお寺に届けたってことなんだ。



なるほどね、コーディネイトはこーでねーとね。



……(汗)。例えばね。こんなことが想像できないかなあ。



組長「組の門徒研修会は順調に行えてるけど、今の社会を考えると人権研修もご門徒に知ってほしいよなあ。けど、人権研修って誰を講師に呼べばいいんだらう。実はあんまり詳しくないんだなあ」

組教化推進部「組長さん。教区の教化委員会にはね。「社会・人権部」って言うのがあって、そこには部落差別問題の実行委員会やハンセン病問題の実行委員会もあるんですよ。組内での研修なら、一度お呼びになつては？」

組長「来てもらえるの？ 紹介してくれる？ それなら一度やってみよう」

専門部会

従来の専門部は業務集中、事業の硬直化が指摘されてきました。それを解消するため、あるいは現代の新しい課題に対応するため、以前は教化委員会の外部にあったボランティア会議・出版会議も含めてこれを再構成いたしました。

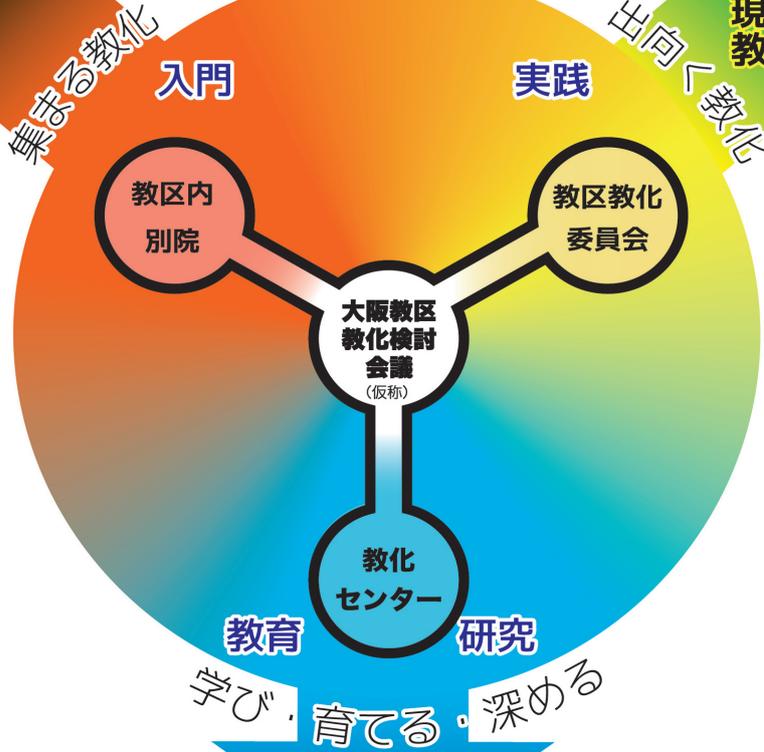
業務内容

- 総合調整局の方針を受けた教化事業の企画および実施
- 各部門の予算の試算の作成
- 実行委員会の新設・改廃を総合調整局に要請
- 実行委員の推薦

◆ 教化3単位住み分け論のための
教化検討会議（仮称）素案 ◆

一般社会に
開かれた教化

寺院・門徒・
推進員
現場が主役の
教化サポート



これからの人の育成と
教学の深い学び・研究



てね。まあ、今の教化委員会でも「儀式・法要部」がやっている「子ども同朋唱和講習会」でブットンくんが出かけて行って子ども会づくりのお世話をしているのは、「出向く教化」の先駆



けだけどね。ふーん。教区教化委員会を通して、それぞれの組が活性化することね。お寺で「同朋の会」を開いて

でも、なかなか上手く出来ないうって声も聞くもんね。



「研修・講座部」には「同朋の会推進実行委員会」もあるし、座談会の方法や、「同朋の会」の進め方も一緒になって考えてくれると思うよ。

それに今回から「青少年部」も加わったことで、お寺での青少年活動にも力になってくれると思うよ。



今まで教区の教化事業にはなかなか行けなかったご門徒も、自分のお寺や組（地域）で教化活動をしていれば、足を運べる回数も増えるもんね。

コーディネート部門

組教化推進部

各組や各ブロックへ出かけ、各寺の意見や要望、問題点を聞き、「出向く教化」として何が出来るかを探ります。教化委員会に出来ること、各寺の活性化に繋がることを提案します。

広報・出版部

これまでの銀杏通信（ホームページ）はもとより、情報の公開やお知らせ、また出版教材や視聴覚教材を駆使して、各寺のご門徒一人ひとりへ届く真宗教化を考えていきます。

実行委員会／ホームページ実行委員会・視聴覚教材実行委員会・出版会議・『しゃらりん』編集部



そう、だから、「一人ひとりの門徒が主役」っていうことなんだ。



待って。そりやお手次のお寺が あって、ちゃんと繋がっているご門徒ならそれでいいけど、全くお寺との繋がりのない人たちはどうすればいいの？地域のお寺にはなかなか敷居が高くて入りづらいつて聞くよ。

親鸞聖人の教えは、特定の人たちだけじゃなく、広く門を開いた教えじゃなくって！

さつくう、どうするのこの問題。ちゃんと答えてよ。あなた自分一人がよかつたらそれでいいの？ どんな人も親鸞聖人の教えと出会えないんだったら、入国禁止みたいなもんじゃない。あなたがそんな自分勝手な人だなんて思わなかつたわ。



……(汗)。しゃりんちゃんつてそんな性格だったんだ……。あのね。それじゃもう一つの図を見てくれる。「教化3単位住み分け論」つてやつ。

大阪教区にはね、大きな別院が5つもあるんだ。教区教化委員会を「出向く教化」にすること、逆に教区内の別院は一般社会に開かれた「集まる教化」と位置つけたんだ。

ここには、ご門徒をはじめ今までお寺

とご縁のなかった人も、自由に集えて、真宗入門講座や各研修会、それぞれの別院で開かれる聞法会に参加してもらって親鸞聖人の教えに触れてもらえるんだ。



なるほどね。けど、教区教化委員会だつて、同朋大会もするし、いろんな講座はあるでしょ。別院さんの事業と重複しないの？



そのために、「大阪教区教化検討会議」つていう場所を設けるんだ。そこでは、「出向く教化」の教区教化委員会。「集まる教化」の教区内別院。そして「学び・育てる・深める」を課題にした、教化センター。この3つの場所がそれぞれに独自の活動を活き活きとしたものにするために、この会議で話し合い、調整しあい、時にはリンクしたり、補いあつたりすることを考えてもらうんだ。



なるほどね。さつくう、あなたが、今まで「策定ホットライン」で電線を持って金斗雲に乗ってる姿が納得できたわ。教区とお寺を繋げるだけじゃなく、教化委員会と別院やセンターも繋げていたのね。

教化施策実践部門

儀式・法要部

私たちにとって最も大切な正信偈のお勤めを通して、同朋唱和講習会・こども同朋唱和講習会を始め、出向く教化としてこれまで同様にご門徒の側で活動致します。

研修・講座部

推進員の誕生は、何よりも一ヶ寺一ヶ寺の活性化です。また同朋の会をサポートすることで、各寺の新しい可能性を一緒に探って行きます。

実行委員会／同朋大会実行委員会・全推進員の集い実行委員会・門徒女性と坊守の集い実行委員会・同朋の会推進実行委員会



苦勞しました。けどね、今はまだ形が出来ただけなんです。これから教区の人たちが全員参加で、教区教化を實踐してもらわないと本当の意味は發揮しないんです。そして一ヶ寺一ヶ寺が活性化して行く教区でないと、本当の教区教化とは言えないんです。



……さつくう。あなた今、自分で「良いこと言った」って思ってるでしょう。



そんなこと思っていないよ(汗)。



まあ、いいわ。それでさあ、「しゃらりん」はどうなるの？



えっ？



さつきから聞いてるけど、ちつとも「しゃらりん」のことが出てこないんだけど。「しゃらりん」はどの部に入るの？



いや〜。どうかなあ。



えっ、決まってるじゃないの？ 今まで長年に渡って教区のことお知らせして来たじゃない。えっ、さつくう。何処行くの、あなたなんで金斗雲に乗ろうとしてるの？



しゃらりんちゃん。それじゃ、僕予定があるから。



さつくうーちょっと待ってよ。行かないで。私を一人にしないでえ

社会・人権部

部落問題は宗門の人権学習の要であります。親鸞聖人の教えに聞くことは、差別・戦争・貧困という現代社会の問題こそが欠かせない視点です。

実行委員会／部落問題に学ぶ実行委員会・「在日」問題に学ぶ実行委員会・ハンセン病問題を共に学ぶ実行委員会・戦争展実行委員会・高木顕明の事績に学ぶ実行委員会・男女平等参画を考える実行委員会・ボランティア推進実行委員会

青少年部

仏教青年会連盟・児童連盟・大谷青年会・大谷スカウト。かつて宗門の活動の中枢を支えてきた青少年活動は、教区へ関わって行く若い世代への入口づくりとして大切な場があります。

実行委員会／青少年活動に学ぶ実行委員会

教区アラカルト

—各組の取り組みのご紹介



教区自主交流会

陶芸同好会

第27組青年会顧問・平野圭晋

組青年会の活動が難しくなりつつある
昨今。ならば組や青年会という枠を越え
て、先ずは人と人とのつながりの場を創
出してはどうかだろう。幸いにも私
たち第27組の浄宗寺
住職・畠中光炎氏は
陶芸家でもあるので、
世間で関心の高い陶
芸で人を募ってみて
は……。そんな、きつ
かけはともかく教区



とにかく面白いですね、陶芸って。現
在の参加者は私も含めて全員初心者。で
すから最初は悲しいくらいひどい出来で
したが、それでも1年経てばなんとなく
様になってきました。
作品は食器や花器に
留まらず、お花まつり
に向け誕生仏にチャ
レンジしている人も。
無心になって取り組
むひと時と、制作後



部屋をお借りし、月に1回、午後3時か
ら7時まで行っています。出欠は自由、
時間内にいつ来ていつ帰っても自由とい
うユルユイ集まりです。現在は住職坊守、
そのご家族、ご門徒さん等、17名のご参
加をいただいております。

内の交流が盛
んになること
を願いとして
始めたのが陶
芸同好会で
す。
立ち上げて
1年と3ヶ
月。場所は難
波別院地下の

の達成感、ストレス解消にバッチリで
す。加えて陶芸には出来たものを生活の
中で使う喜びもあって、使う度に次はこ
うしようあしよう夢が広がります。

将来は難波別院の報恩講で自分たちの
作品のバザーをしたいなあ、なんて大そ
れた夢も見ています。参加は随時受け入
れております。詳しくは銀杏通信の第27
組の記事をご覧ください。お待ちしております。
ります。

連絡先・願随寺 (0745-75-5395)



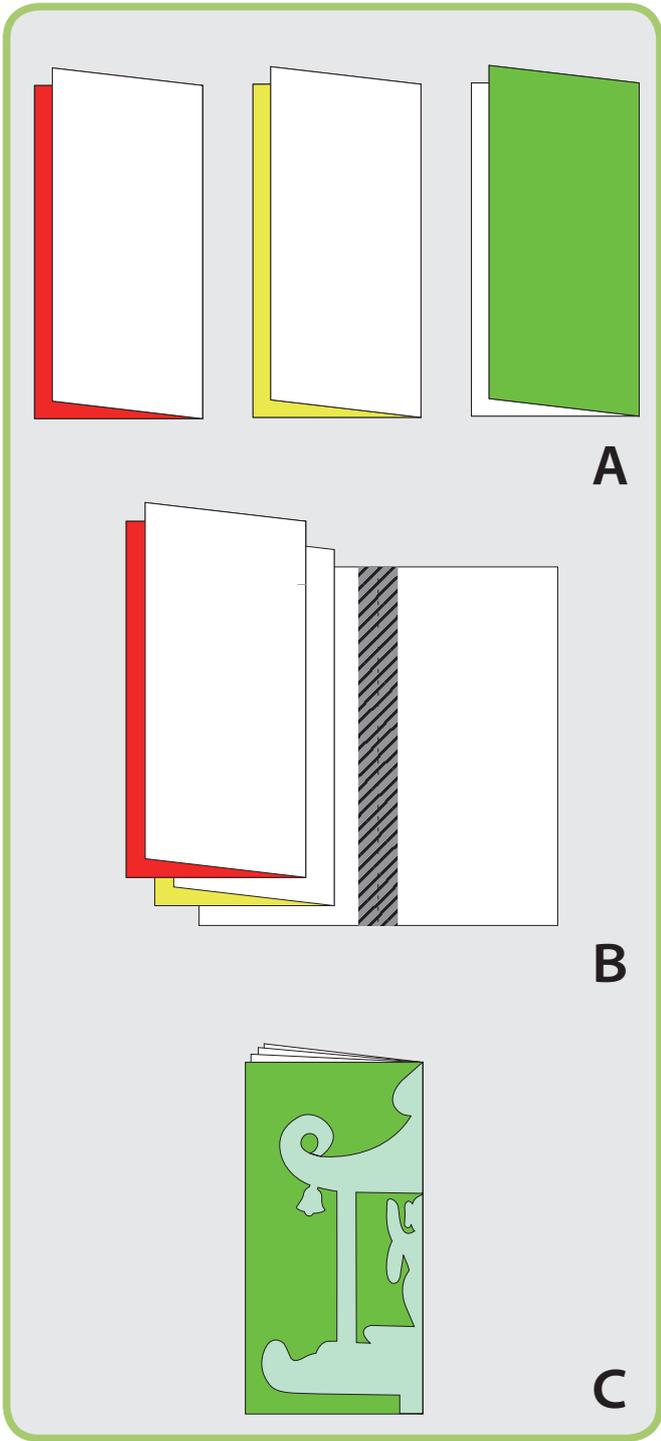
切り紙で花御堂を作ろう！

4月8日はお釈迦様の誕生日。折り紙3枚で花御堂を作ってお飾りしてみませんか。

【必要なもの】
折り紙3枚・のり・ハサミ・鉛筆

①1枚を外表、2枚を内表に折る。

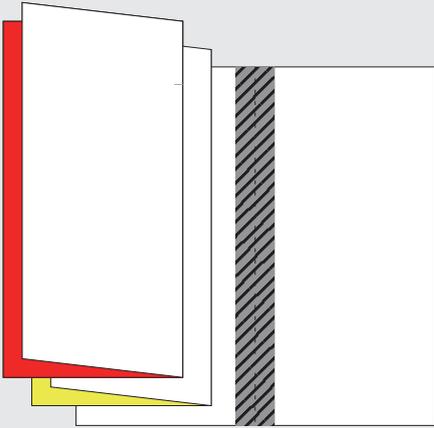
【図A】



A

②外表折りを開き、折り目に沿って5mm位のりを付け、内表折り2枚を貼り冊子状にする。

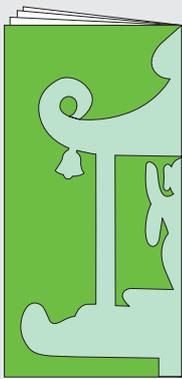
【図B】



B

③冊子の背に型紙をあて、鉛筆などで切り取り線を写す。

【図C】



C

④冊子のまま、切り取り線に沿って切る。

⑤屋根と土台の端の裏同士を軽くのり付けする。

紙姿「花御堂」

紙道創始者 栗津実氏 作

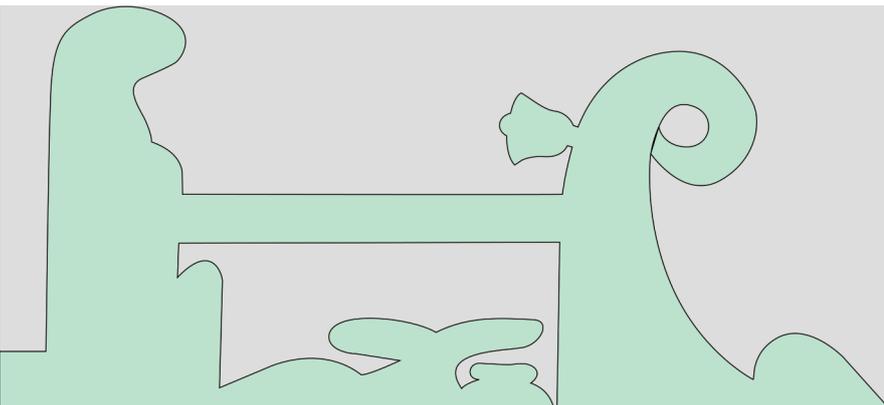
⑥冊子を開いてお釈迦様の腕を、右上・左手下になる様に切る。(裏面をまとめて切らない)

⑦擬宝珠ぎぼしに糸を通す。
※型紙は古ハガキなどで作って下さい。
※動画で詳しい作り方を紹介しています。

「銀杏通信」をご覧ください。



うまくいけばこのようになります！



第43回同朋大会を実施

来たる5月20日(土)、講師に川村妙慶氏をお迎えして、難波別院を会場に同朋大会が行われます。午前と午後の二部制で、組によってどちらへ行くことになるか決まっています。

参加費1000円をそえて、組長にお申し込みください。たくさんのご参加、お待ちしております。

教化センターの業務について

大阪教区教化センターでは、視聴覚教材として350冊を超える作品の紙芝居を所蔵しており、教区内に貸出しを行っております。また、紙芝居の舞台4台やプロジェクター・スクリーンも有償にて貸出し可能です。

所蔵する紙

芝居の中から、今回は2冊をご紹介します。ぜひご紹介します。

「紙芝居 おしゃかさま」
(全4巻)

第1巻「おたんじょう」

では、釈迦国の王子として誕生したおしゃかさまを、第2巻「四つの門」では青年期の王子が世の中の苦しみと対峙し出家するまでを、第3巻「おさとり」では苦行の末に

真理をさとるまでを、第4巻「ねはん」では、おしゃかさま最後の教えが描かれています

「ふつたのはなまつり」

こぎつねのふうたは、人間がつくる蓮華の花かんむりが欲しくて仕方ありません。それを聞いた



お母さんきつねは、花かんむりを作ってくれるのですが……。人と動物の絆を描いた、こころ温まるお話です。

なお、センター事務室は同朋会館1階に移転いたしました。が、従来どおり閲覧・貸出しをさせていただきます。お問い合わせください。

詳しくは教化センター(06-6251-0745)までお問い合わせください。

満たされて 生きるとは

第43回

同朋大会

現代の危機を親鸞聖人に問う

主催：真宗大谷派大阪教区教化委員会

- 日時 2017年5月20日(土)
午前の部 午前10時より
午後の部 午後2時30分より
- 講師 川村妙慶氏
(真宗大谷派難波別院、フリーアナウンサー)
- 場所 難波別院本堂
大阪市中央区久太郎町4-1-11
- 参加費 1000円

<http://www.icho.gr.jp>

発行日：2017年4月1日

発行所：真宗大谷派大阪教務所
大阪市中央区久太郎町 4-1-11
TEL06-6251-4720

発行人：宮浦一郎

- 編集：
- 第4組 常栄寺・久世見証
 - 第9組 浄圓寺・難波美千子
 - 第10組 是三寺・北川浩三
 - 第12組 清澤寺・澤田 見
 - 第16組 即得寺・大戸俊彦
 - 第17組 法観寺・廣瀬 俊
 - 第25組 南林寺・藤林容子
 - 第27組 願隨寺・平野圭晋+萌
 - 第27組 信證寺・吉内利彦
 - 第27組 浄宗寺・畠中晃子

<http://www.icho.gr.jp/>



私の一冊 ● 安城由紀子さん (第4組 恩敬寺)

『深い河』 遠藤周作

この本は1993年に刊行されたもので、当時毎日芸術賞受賞を受賞したこともあり、脚光を浴び、のちに映画化もされている。

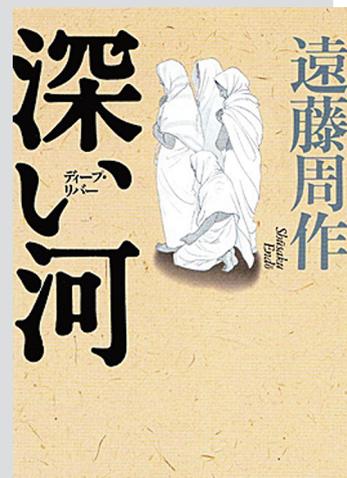
この作家がキリスト教信者であることは有名であるが、彼の信仰の在り方はしばしば真宗学的に関心を持たれることが多い。その理由は、この『深い河』という作品を読むだけでも十分頷けるのではないだろうか。なぜなら、この作品に出てくるある人物の信仰心が、浄土真宗で言われる求道心や信心にあまりにも近いと思われるからである。

この作品には、主人公が5人いる。中でも、特に私が心を寄せた主人公が“大津”というクリスチャンの男である。私には最も印象に残る彼の言葉がある。

「神とはあなたたちのように人間の外にあって、仰ぎみるものではないと思います。それは人間の中にあつて、しかも人間を包み、草花をも包む、あの大きな命です」

この言葉が表す彼の信仰心は、浄土真宗で言われるところの“信心”に近いものがあるように思えてならない。

作中、彼のような思想は汎神論的な考え方とされ、ついには神父になることが許されなかった。しかし彼は教会という社会から排除されてもなお、その生涯を自身の信仰における神に捧げて生きるのである。その姿は私に宗教的感動を与えるとともに、今もなお自身の信仰を厳しく問うものである。



編集 後記

『しゃらりん』の起稿・刪修に携わり、色々な方の考えや思想に接する機会に恵まれたことに、ありがたい縁を感じます ◆行事や研修、時には旨酒佳肴を囲んで歓談する

ような日常の随縁を有意義なものにするために、お互いに学び取り、共に師となり資（人格向上の資）とすることで、精緻専一に思想を練り上げ、歳月を閲するうちにやがて涵養・円熟させていくという、自己鍛錬陶冶の歩みの場にまで昇華していく機会として、そういう場を捉えていくことは楽しいことでもあります ◆こうした人と人との交流の大切さを念頭に置いて思い返して考えてみますに、新渡戸稲造の『武士道』の「我を人たらしめるは師である」（原文英文）と言つ言葉や、吉田松陰の「師恩友益」という言が頭を過ぎります ◆私たちにとつて善知識という存在は、上記の言葉が指すような人格長養や気づきに導く師と言えるでしょう ◆私たちひとりひとりが共に御同朋と認め合つたり、善知識と尊ばれる存在に気づくことは、みずから省察する習慣を心掛けていても難しいですが、徜徉として日を送る私には未だしの感です ◆例え優れた人がいても、単に出会うのと、その徳風に親炙し、自身のありように気づかされていくことでは、大きな隔たりがあるといわねばなりません ◆聖因勝縁は人生の一大事です。今、大阪教区では、新教化体制に移行しつつあります。そのなかで、小誌がそうした勝縁の助けとなるように役立てればと願います（大戸）